

鹿児島県農業共済組合（NOSAI かごしま）

1 鹿児島県の紹介

鹿児島県は九州の南端に位置し、面積は約 9,187km² で全国第 10 位、九州の中では最も面積の広い県です。南北約 600km にわたる広大な県域には 1256 もの離島が点在し、そのうち、有人離島が 28 あります。多くの地域は温帯に属していますが、一部の地域は亜熱帯の気候に属しています。九州最高峰の山がそびえる屋久島には冷温帯の一面もあり、3つの気候帯が属するとも言われています。

温暖で豊かな自然環境や伝統文化、特色ある郷土料理に加え、各地には温泉地が点在し、年間を通して多くの観光客が訪れています。また、鹿児島のシンボルである桜島・錦江湾は日本ジオパークに認定されていて、さまざまな体験と共に火山と人と自然のつながりを学ぶことができます。



桜島

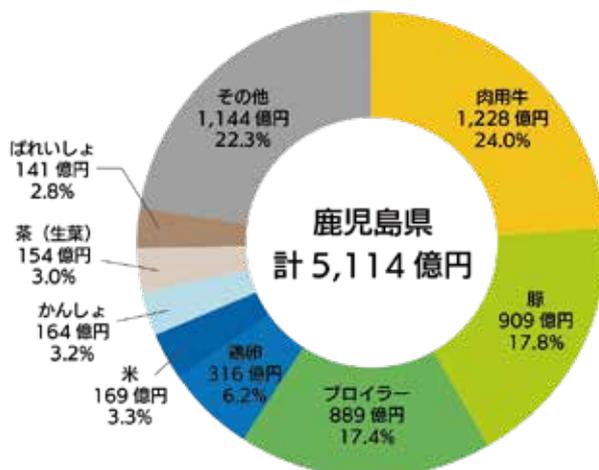
2 鹿児島県の農業

令和 4 年の農業産出額は全国第 2 位の 5,114 億円で、約 68% は肉用牛（黒毛和種）や豚を中心とした畜産が占める畜産県です。鹿児島黒牛は、GI（地理的表示）として登録されている日本を代表する農産品であるとともに、令和 4 年に開催された「第 12 回全国和牛能力共進会」では、最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞し、和牛日本一の栄光に輝きました。また、豊かで変化に富んだ自然条件を生かして、野菜・茶・さとうきび・さつまいもなど、多彩な営農を展開しています。

本県では、担い手の確保・育成等による「人づくり・地域づくりの強化」をはじめ、スマート農林水産業の導入・普及や 6 次産業化の推進等による「生産・加工体制の強化、付加価値の向上」、県産農林水産物の

ブランド力の向上や輸出商社等の海外営業活動支援などのさらなる輸出の促進等による「販路拡大・輸出拡大」など、「稼ぐ力」の向上に向けた施策に取り組んでいます。

令和 4 年 本県の農業産出額（部門別）



農林水産省「生産農業所得統計」より

3 鹿児島県農業共済組合（NOSAI かごしま）の概要

【本所所在地】 鹿児島県鹿児島市鴨池新町 12 番 4

【電話番号】 099-255-6161

【組織体制】 (2024 年 10 月 1 日現在)

役員 26 人（理事 21 人、監事 5 人）

職員 453 人（嘱託・臨時職員含む）

【支所数】 8

【診療所数】 家畜診療センター 8

臨床検査研修センター 2

【基礎組織】 (2024 年 7 月 1 日現在)

総代 198 人

損害評価委員 38 人

損害評価員 1,123 人

家畜診療所運営委員 6 人

【組合員数】 (2024 年 3 月末現在)

63,527 人



4 鹿児島県農業共済組合（NOSAI かごしま）の活動

令和 3 年 4 月に県内 7 つの農業共済組合と 1 つの事務組合が合併して「鹿児島県農業共済組合」が発足し、同年 5 月に特定組合となりました。

近年、世界的な食料需給の変動や気候変動に伴い、農業経営は厳しい状況となっています。農業共済組合の果たすべき役割は、より一層重要となり、農業保険制度及び収入保険制度の両輪で、農業者が安心して取

り組める農業を後押しします。

「備えあれば憂いなし」の農業生産体制の構築に向け、行動スローガンの「より身近に、より丁寧に、農家のもとへ」を積極的に実践することで、農業の生産現場により深く浸透し、農業経営の基幹的セーフティーネットとしての農業保険を最適な加入プランで提案。無保険者ゼロを目指します。



第4回通常総代会



水稲の損害評価を行う職員